

刊行にあたって

「バブル崩壊」という経済的な事件が、日本で一九九〇年近辺に起こりました。一九四五年に第二次世界大戦に敗戦した日本は、戦後の復興から、約半世紀にわたる経済成長をとげましたが、「バブル崩壊」は「高度経済成長」から続いていた日本の右肩上がりの時代の終わりを告げるものでした。

それ以降、日本では「失われた三十年」とも言われる沈滞の時代が続いています。

「一億総中流」と呼ばれ、がんばれば誰もが豊かになれると信じられた社会から、貧困率が上昇し続ける「格差社会」へと、日本の社会は姿を変えつつあります。子どもたちの生活においても、「7人に1人」が貧困であると言われています。

貧困は子どもたちから教育の機会を奪います。子どもが成長して親になったときに、教育の不足ゆえに低い収入で働き続けることを受け入れざるを得なかったとすれば、その次の世代の子どもも、また貧困に苦しみ、十分な教育から遠ざけられかねません。これは「貧困の連鎖」「格差の連鎖」と呼ばれています。

また、教育の不足で十分な収入が得られないために、不本意ながら結婚や出産をあきらめる人たちもいることでしょう。青壮年の貧困は「少子化」の大きな原因のひとつともなっています。

こういった悪循環は、日本の現在の大人である私たちが作りだしたものであり、子どもたちには何の責任もありません。この悪循環を止めるにはいろいろな方法があるかと思いますが、「高齢化」が進行し、福祉にますます財源が必要になる中でも、貧しさの原因で子どもが学びをあきらめるような社会をつくってはならないと、私たちは考えています。

『ワンコイン参考書・問題集（税別500円）』／『ツーコイン電子参考書・電子問題集（税別200円）』は、未来を担う日本の子どもたちが安くても良質な参考書・問題集を手に入れるようにとの思いで刊行しました。この理念に賛同してくれた著者の先生や、制作会社、印刷会社の人たちのおかげで、このシリーズを刊行することができました。

子どもたちよ、どうか「学びを、あきらめない」でください。このシリーズが子どもたちの役に立つことを祈っています。

二〇二二年一〇月二七日 日栄社編集部

もくじ

小6国語問題集

第1章	ことばと漢字	4
第2章	文法	62
第3章	古典	82
第4章	説明的文章	106
第5章	随筆 <small>ずいひつ</small>	146
第6章	物語	172
第7章	詩	202
解答 <small>かいとう</small>		220

第1章

ことばと漢字

1 かなづかいと送りがな

解答220ページ

1 例にならって、次の各文から「かなづかい・送りがな」のまちがいを見つけ、その部分を正しく直したものを解答らんにご書きましょう。

(例) その国のおおさまと会いました。

(答) おうさま

(例) このバッグは高かくて買えない。

(答) 高くて

① づいづいをつらう思いをしてきました。

② こんどこそ、ぼくがせんとおで走るぞ。

③ 寒かったせいか、池のこうりがあつくはっている。

④ おとおさんといっしょに山に登りました。

⑤ このみそ汁はとてもおいしいね。

⑥ おもてづりが急にやかましくなりました。

- ⑦ ござつみはていねいにひもでしばっておじい。
⑧ ちかじか遠足の予定が発表されます。
⑨ いちぢくの実がたくさんとれました。
⑩ 私が意見をゆうと、みんなが混乱こんらんします。

⑨	⑦	⑤	③	①
⑩	⑧	⑥	④	②

⑪ ぼくわね、こう見えても努力家なんだ。

⑫ なんとすづしい風がふいてくるのだろう。

⑬ 駅まではまだとうい。

⑭ とてもはづかしいまねをってしまったらしい。

⑮ えんぴつを一本づつていねいにけずりはじめた。

⑯ 宿題がこんなにおういのは久しぶりだ。

⑰ おそろおそろ近ずいたが、何も見えなかった。

⑱ 次の日曜日に変更したてうかがいます。

⑲ この喜びをどう表現したらよいのだろう。

⑳ 広場にはたくさんの人々が群らがっていた。

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

- ②① 田舎で商店を営なんでいた両親が廃業してこちらへ出てくる。
- ②② 多くの兵を率きいて戦場へ向かう。
- ②③ 自分で確めたことなのだから自信を持ちなさい。
- ②④ 優しかった父の影響を受け小説家を志ごす。
- ②⑤ 少しぐらい天気が悪くても運動会は行れるでしょう。
- ②⑥ 私はために鏡に向かって呼びかけてみた。
- ②⑦ 昨日なくしたボールはそこにちゃんと転っていた。

①⑨	①⑧
②⑩	③①

②⑦	②⑤	②③	②①
	②⑥	②④	②②

2 次のことばを、漢字に送りがなをつけた形で書きましよう。


- ① ころよい (快)
- ② あたたかい (暖)
- ③ こまかい (細)
- ④ かならず (必)
- ⑤ つらなる (連)
- ⑥ ととのえる (調)

参考

動詞・形容詞・形容動詞の送りがな

1. 動詞・形容詞・形容動詞を漢字で表記する場合、送りがなは活用語尾から送るのが原則です。

2. ただし、「新しい」「楽しい」「なご」「し」で終わる形容詞は「し」から、「静かだ」「和やかだ」「朗らかだ」など「か」「やか」「ら」のつく形容動詞はその部分から送ります。

- ⑦ かえりみる (省)
 - ⑧ すこやか (健)
 - ⑨ いさましい (勇)
 - ⑩ おぎなう (補)
 - ⑪ みじかい (短)
 - ⑫ うけたまわる (承)
 - ⑬ すくない (少)
 - ⑭ いちじるしい (著)
 - ⑮ こころみる (試)
 - ⑯ あやまる (誤)
 - ⑰ いさぎよい (潔)
 - ⑱ わかれる (分)
 - ⑲ ひえる (冷)
 - ⑳ すてる (捨)
 - ㉑ まじわる (交)
 - ㉒ けわしい (険)
- 

- ②③ さからう (逆)
②④ かわる (変)
②⑤ あたり (辺)
②⑥ すごす (過)
②⑦ もっとも (最)
②⑧ まじる (混)
②⑨ したがう (従)
③⑩ もちいる (用)
③⑪ おきる (起)
③⑫ ただちに (直)
③⑬ しあわせ (幸)
③⑭ みずから (自)



1 国語辞書で「道」「軽い」という二つのことを調べてみると、次のようにいくつかの意味があります。

「道」 1. 往復するところ・道路 2. きより 3. 途中とちゆう

4. 道徳 5. 方法・手段しゅだん 6. 教え 7. 方面

8. 道筋みちすじ

「軽い」 1. 目方めかたが少ない 2. かるがるしい 3. 手軽だ

4. 強くない・はげしくない 5. 重大でない

6. いやしい 7. 早い・軽快だ

問 次のア～ウの文中につかわれている「道」「軽い」は、それぞれ右にあげたどの意味にあたりますか。番号で答えましょう。

「道」 ア 人としての道をふみはずしてはならない

イ 彼はその道ではだれにも負けない自信を持つ

ウ その問題を解決する道はいくつもある

「軽い」ア 彼は、どうも□が軽くて困る

イ ボートは、流れに乗って軽くすべりだした
ウ 母の病気は思ったよりも軽くて、まもなく退院できる

「道」ア

イ

ウ

「軽い」ア

イ

ウ

2 次の①～⑫のことを国語辞書に出でくる順序に正しくならべ、記号で答えましょう。なお、外来語の長音(のばす音)は「あいうえお」に直して考えてください。

- | | | | |
|---------|-------|---------------------------|--------------------------|
| ①ア 実行 | イ 実習 | ウ 実験 | エ 実際 |
| ②ア しせい | イ しぜん | ウ しせつ | エ しせん |
| ③ア 気候 | イ 気持ち | ウ 気高い | エ 気長 |
| ④ア 気強い | イ 通り雨 | ウ 討論 <small>とうろん</small> | エ 傷口 <small>きずぐち</small> |
| ⑤ア 五月晴れ | イ 賞品 | ウ 私用 <small>しやうよう</small> | エ 雑記帳 |
| | | | オ 殺気 |

参考

国語辞書の使い方

国語辞書の見出し語の順番は、「三つの原則」によつて決まります。

1. 五十音順に並んでいる。第一音が同じ場合には第二音、第二音が同じ場合には第三音が五十音順に並んでいる。

2. 清音せいおんよりも濁音だくおんが後、濁音だくおんよりも半濁音が後。

3. 「つ・や・ゆ・よ」「よりも」「っ・ゃ・ゅ・ょ」が後に来る。

⑥ ア ユニフォーム イ ゆめうつつ ウ ユートピア

エ ゆうせい

⑦ ア ビロード イ ひとまね ウ ヒューズ エ びょうしゃ

⑧ ア てきせい イ てっぱい ウ データ エ てぶそく

⑨ ア 使用人 イ 商人

⑩ ア くち イ くだもの ウ くちぶえ エ くちよう

⑪ ア ぎょうずい イ きょうかい ウ きょうしつ

エ ぎょうてん

⑫ ア 宿舎 イ 宿題 ウ 宿場 エ 宿願

①

②

③

④

⑤

⑥

⑪	⑫	⑦
⑨	⑩	⑧

3 次の文中の () にあてはまることばを、あとのア～サから選びましょう。

() ① () 辞書では、「あいうえお、かきくけこ……」の順、つまり
 () ② () 順にことばを並べ(な)せてあるのがふつうです。

() ③ () 音が
 先で、ついで () ④ () 音、 () ⑤ () 音の順になります。

「詳細」という熟語の読み方がわからない場合には、() ① () 辞書で調
 べることはできませんから、() ⑥ () 辞典で「詳」という漢字を引きま
 す。ある () ⑥ () 辞典の () ⑦ () 索引を見ると「こんべん」の部は

七百六ページからとのこと。そのページから順に見ていくと、「詳」は八ページ目についていました。

その他に、(⑥) 辞典では、(⑧) 索引を使うこともできません。これは、漢字全体の画数によって漢字を引けるようにしたものです。また、漢字の読み方がわかっている場合には、(⑨) 索引を使うと便利です。

ア	部首	イ	清 <small>せい</small>	ウ	音	エ	国語
オ	漢和	カ	音訓	キ	総画 <small>そうかく</small>	ク	半濁 <small>はんたく</small>
ケ	画数 <small>かくすう</small>	コ	濁 <small>だく</small>	サ	五十音		

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
	⑤

参 考

清音・濁音・半濁音

「は行」を例にとるなら
 「はひふへほ」を清音、「ば
 びぶべぼ」を濁音、「びび
 ぶべぼ」を半濁音とい
 います。

1 次の各熟語の読み方は、あとのア〜エのどれになりますか。

- | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|
| ① 野菜 | ② 織物 | ③ 道順 | ④ 発芽 | ⑤ 職場 | ⑥ 消印 |
| ⑦ 試合 | ⑧ 家屋 | ⑨ 店番 | ⑩ 倒立 | ⑪ 縁側 | ⑫ 荷物 |
| ⑬ 首輪 | ⑭ 寝床 | ⑮ 登山 | ⑯ 番組 | ⑰ 発表 | ⑱ 借家 |
| ⑲ 報告 | ⑳ 値段 | ㉑ 背中 | ㉒ 場所 | | |
- ア 音・音読み
 ウ 重箱読み
- イ 訓・訓読み
 エ 湯桶読み

①	②	③	④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
⑲	⑳	㉑	㉒		

音読みと訓読み

原則として、聞いただけでは意味がわからないのが音読み、聞いただけで意味がわかるのが訓読みです。例えば「山」という字で言うと、「サン」と聞いただけでは何のことかわかりませんが、「やま」と聞けばすぐに意味がわかります。つまり、「サン」が音読みで「やま」が訓読みです。ただし、この原則から外れる音読み・訓読みも多数ありますので、注意して下さい。

- ⑥ 「悪性」…下に状態・性質を表す漢字がつくもの
- | | | | | | | | | | |
|---|-----------------------|---|------------------------|---|------------------------|---|----|---|----|
| ア | 栄枯 <small>えいこ</small> | イ | 私有 <small>しりゆう</small> | ウ | 貴重 <small>きちゆう</small> | エ | 暴風 | オ | 当然 |
| カ | 預金 <small>よきん</small> | キ | 日没 <small>にちぼつ</small> | ク | 単独 | | | | |

④	①
⑤	②
⑥	③

2 次の各問いに答えましょう。

- ① 「快晴」と同じ組み立ての熟語を次のア～エから選びましょう。
- | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|------------------------|---|----|
| ア | 親友 | イ | 決意 | ウ | 温暖 <small>おんだん</small> | エ | 利害 |
|---|----|---|----|---|------------------------|---|----|
- ② 「知識」と同じ組み立ての熟語を次のア～エから選びましょう。
- | | | | | | | | |
|---|----------------------|---|----|---|------------------------|---|----|
| ア | 是非 <small>ぜひ</small> | イ | 思考 | ウ | 進退 <small>しんたい</small> | エ | 考案 |
|---|----------------------|---|----|---|------------------------|---|----|
- ③ 「無理」と同じ組み立ての熟語を次のア～エから選びましょう。
- | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | 禁止 | イ | 非常 | ウ | 公立 | エ | 国連 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|

3 次の①～④と同じ組み立ての熟語を、あとのア～カから一つずつ選びましょう。

- | | | | |
|--------------------------|------|------|------|
| ① 幼児 <small>よちご</small> | ② 表現 | ③ 年長 | ④ 注目 |
| ア 雷鳴 <small>らいめい</small> | イ 無限 | ウ 読書 | エ 会見 |
| カ 古都 | | | オ 天地 |

- | | | | |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|

4 次の①～⑩の熟語と組み立てが同じものを、あとのア～キから選びましょう。記号は同じものを何度使ってもかまいません。

- | | | | | |
|------|------|-------------------------|------|--------------------------|
| ① 無学 | ② 記述 | ③ 敬老 <small>けいろ</small> | ④ 出欠 | ⑤ 星霜 <small>せいそう</small> |
| ⑥ 進化 | ⑦ 国民 | ⑧ 価値 <small>かち</small> | ⑨ 病人 | ⑩ 公私 <small>こうし</small> |
| ア 通行 | イ 遠近 | ウ 大河 | エ 必然 | オ 休業 |

- | | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |
|---|---|---|

カ 矛盾むじゆん
キ 未開

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
⑩	⑤

5 次の各組の熟語の中で、それぞれ一つだけ組み立てが異なるものが入っています。その記号を答えましょう。

①ア	黒板	イ	善人 <small>ぜんにん</small>	ウ	河川	エ	机上 <small>けいじょう</small>
②ア	正誤 <small>せいご</small>	イ	賛否 <small>さんび</small>	ウ	売買	エ	購買 <small>こうばい</small>
③ア	入試	イ	選管	ウ	国民	エ	国連
④ア	到達 <small>とうたつ</small>	イ	新旧	ウ	永久	エ	死亡 <small>しほつ</small>
⑤ア	害虫	イ	好感	ウ	異国 <small>いこく</small>	エ	歓喜 <small>かんき</small>
⑥ア	気化	イ	性別	ウ	美的	エ	公然
⑦ア	委任	イ	正確	ウ	救助	エ	熱湯
⑧ア	最後	イ	問答	ウ	去就 <small>きしゆ</small>	エ	自他

- | | |
|-----|--------------------------|
| ⑨ ア | 就職 <small>しゅうしょく</small> |
| ⑩ ア | 存在 <small>そんざい</small> |
| イ | 新設 |
| イ | 始業 |
| ウ | 入浴 |
| ウ | 点灯 |
| 工 | 習字 |
| 工 | 決心 |

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
⑩	⑤

6 次の①～⑩の漢字に、反対の意味を持つ漢字を組み合わせて二字熟語を作ります。あとのア～シからそれぞれ適切なものを選びましょう。

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| ① 主 | ② 貸 | ③ 需 | ④ 有 |
| ⑤ 正 | ⑥ 公 | ⑦ 難 | ⑧ 興 |
| ⑨ 単 | ⑩ 利 | ⑪ 陰 | ⑫ 虚 |
| ア 亡 | イ 陽 | ウ 従 | エ 給 |
| カ 害 | キ 易 | ク 複 | ケ 無 |
| サ 誤 | シ 借 | | コ 私 |

7 次の熟語の上に漢字一字をそえて、もとの熟語と反対の意味の語を作る場合、あとのア～エのどれを用いたらよいですか。それぞれ記号で答えましょう。

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----|----|---|-----|-----------------------|---|-----|----|---|-----|----|
| ア | ① | () | 常識 | ② | () | 開発 | ③ | () | 賛成 | ④ | () | 理解 |
| 不 | ⑤ | () | 公式 | ⑥ | () | 確認 <small>かくん</small> | ⑦ | () | 完成 | ⑧ | () | 利益 |
| イ | | | | | | | | | | | | |
| 未 | | | | | | | | | | | | |
| ウ | | | | | | | | | | | | |
| 非 | | | | | | | | | | | | |
| エ | | | | | | | | | | | | |
| 無 | | | | | | | | | | | | |

- | | |
|---|---|
| ⑦ | ① |
| ⑧ | ② |
| ⑨ | ③ |
| ⑩ | ④ |
| ⑪ | ⑤ |
| ⑫ | ⑥ |

- | | |
|---|---|
| ⑤ | ① |
| ⑥ | ② |
| ⑦ | ③ |
| ⑧ | ④ |

サ	カ	ア
長所	禁止	復習
シ	キ	イ
敗北	抽象 <small>ちゆうしやう</small>	悲観 <small>ひかん</small>
ス	ク	ウ
支出	結果	部分
セ	ケ	エ
進歩	平等	複雑
ソ	コ	オ
不安	成功	賛成

①	⑥	①
②	⑦	②
③	⑧	③
④	⑨	④
⑤	⑩	⑤
⑪	⑬	⑭
⑫	⑮	⑯

2 次の①～⑤の反対語をあとに語群から選び、漢字に直しましょう。

- ① 安全
- ② 需要じゅよう
- ③ 差別
- ④ 消費
- ⑤ 短縮たんしゆく

「語群」せいさん きようきゆう きけん

えんちゆう びんしゆく

①				
②				
③				
④				
⑤				

3 次の各組の熟語の中で、同じような意味を持つものを二つ選びましょう。

⑥	①	⑩ ア	⑨ ア	⑧ ア	⑦ ア	⑥ ア	⑤ ア	④ ア	③ ア	② ア	① ア
		立身	消息	教育	原始	失敗	完成	用意	計算	不良	長所
⑦	②	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
		出世	消防	成立	原野	失速	完全	用事	図画	不平	短所
⑧	③	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
		前進	音符 <small>おんぷ</small>	成長	開発	失望	無欠	準備	企画 <small>きかく</small>	干満 <small>かんまん</small>	美食
⑨	④	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
		現世	音信	発育	未開	失意	無理	水準	計画	不満	美点
⑩	⑤										

参考

同義語

同義語は、意味が完全に一致するとは限りませんので、作文を書く際は注意して使って下さい。例えば「目標」と「目的」はしばしば同義語としてあつかわれますが、「今月中にドリルを一冊終しゅうらせるのが目標だ」「最終的にはあの会社を乗っ取るのが目的だ」というように、使い方が微妙に異なります。

4 次の各組の熟語の中で、同じような意味を持つものを二つ選びましょう。

⑥	①	⑩ ア	欠点	⑨ ア	決心	⑧ ア	不安	⑦ ア	経由	⑥ ア	必然	⑤ ア	持久	④ ア	発育	③ ア	改良	② ア	異国 <small>いこく</small>	① ア	意外
⑦	②	イ	欠席	イ	安心	イ	心配	イ	経験	イ	自然	イ	持参	イ	進歩	イ	改善 <small>かいぜん</small>	イ	祖国	イ	心配
⑧	③	ウ	短所	ウ	同意	ウ	不幸	ウ	体験	ウ	整然	ウ	永遠	ウ	向上	ウ	改名	ウ	建国	ウ	案外
⑨	④	エ	長所	エ	決意	エ	心理	エ	体育	エ	天然	エ	永久	エ	発生	エ	改悪	エ	他国	エ	以外
⑩	⑤																				

5 次のことばを漢字に直しましょう。また、同じような意味を持つ熟語を

あとのア～コから選びましょう。

① げんぶつ ② しよめん ③ れいき ④ しんせつ

⑤ こんなん ⑥ しゅよう ⑦ しょゆう ⑧ しがん

⑨ しよち ⑩ せい

ア 辛苦しんく イ 手紙 ウ 処理しより エ 現品 オ 保持
 カ 寒気 キ 志望 ク 厚意 ケ 真心 コ 重要

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
---	---	---	---	---	---	---	---

⑨

⑩

参考

四字熟語

四字熟語は、まず読み方を覚えて、次に意味を頭に入れましょう。ふだんの生活の中で耳にしたとき、そのつど意味を調べよつに心がけると、自然と覚えることができます。四字熟語の中には、中国から伝わった故事成語や、慣用語のように使われるものもあります。

6 四字熟語

解答 224 ページ

1 次の四字熟語の〔 〕に適切な漢字を入れ、読みも書きましよう。

- ① 〔 〕 進 〔 〕 退
- ② 〔 〕 機 〔 〕 変
- ③ 我田 〔 〕 〔 〕
- ④ 〔 〕 怒哀 〔 〕 〔 〕
- ⑤ 一 〔 〕 不乱 〔 〕 〔 〕
- ⑥ 〔 〕 苦 〔 〕 〔 〕 苦
- ⑦ 〔 〕 朝 〔 〕 未聞 〔 〕 〔 〕
- ⑧ 〔 〕 朝 〔 〕 〔 〕 〔 〕
- ⑨ 質疑 〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕
- ⑩ 〔 〕 場 〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕 致 〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕

④〇	③九	③八	③七	③六	③五	③四	③三	③二	③一	③〇	②九	②八	②七
三	因	公平	傍若	三寒	小	一世	自由自	五里	意気	〃	一	〃	枝葉
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五	応	〃	〃	〃	日和	〃	〃	〃	合	日千	始	石	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

2 ①～⑭の内容にあてはまる四字熟語を漢字で答えましょう。ただし次の条件を参考にしてください。

「条件1」それぞれの四字熟語の中には必ず漢数字が使われている。

「条件2」使われている漢数字は、一つだけの場合もあれば、二つ、三つ、四つの場合もある。

「条件3」()の中の数字は、それぞれの四字熟語の中で用いられている漢数字の和をあらわしている。

- ① 一目で遠くまで見渡せるほど広々としていること (千一)
- ② 長所もあるし、短所もあること (二)
- ③ 非常に苦しいこと (十二)
- ④ だれとでも愛想よく交際する人 (八)
- ⑤ 値段が大変安いこと (五)
- ⑥ 冬から春に移り変わるころの気候の様子で、数日寒い日が続くと、その後の数日は暖かい日が続く (七)
- ⑦ あちらに数人、こちらに数人と人が散らばっている様子 (十六)
- ⑧ 一つのことをして二つの利益を手に入れること (一)

⑨さまざまに変化すること（二万一千）

⑩さまざまな、大変多くのちがいがあるということ（二万一千）

⑪ほとんど死にそうになり、かろうじて助かること（十）

⑫何度も何度も、たびたび（七）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

⑬ 何度失敗してもあきらめず、立ち上がって戦いぬくこと (十五)

⑭ 人の好みや考え方は、実にさまざまである (二十)

⑬

⑭

3 次の①～⑫の()の部分に適当な漢字を入れて四字熟語を完成させます。()に入れる漢字を解答らんに書きましよう。

① 用意() 到 ② 大胆() 敵 ③ 取() 選択 ④ () 小棒大

⑤ 起承() 結 ⑥ 自画自() ⑦ 半信半() ⑧ 離合() 散

⑨ 前代() 聞 ⑩ 利害() 失 ⑪ 首() 一貫 ⑫ 馬() 東風

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

4 次のそれぞれの内容にあてはまる四字熟語をあとのカタカナの語群から

選び、漢字にして答えましょう。

- ① 多くの人の言うことがみな一斉いっせいに同じであること
- ② 他人の意見を気にとめず、聞き流すこと
- ③ わずかな日時のこと
- ④ 前置きなしに直接本題に入ること
- ⑤ これまでに聞いたことがないこと
- ⑥ わずかな言葉のこと
- ⑦ 無言のうちにたがいの心が通じ合うこと
- ⑧ 全体的にはほとんど違ちがいがなくないこと
- ⑨ 一つのこと集中して他のことに心が乱みだされないこと
- ⑩ 自分の都合の良いようにすること
- ⑪ 今までになく、これからはないと思われるほどめずらしいこと
- ⑫ 自分がした悪い行いの報いを自分自身が受けること
- ⑬ 広々として、限りがないこと
- ⑭ あっちにふらふらこっちにふらふら、迷って方針ほうしんが立たないこと

⑮ 大人物は時間をかけて成長していくものだということ

「語群」

イシンデンシン

バジトウフウ

タントウチヨクニユウ

コウダイムヘン

クウゼンゼツゴ

イクドウオン

ゼンダイミモン

ウオウサオウ

イチゴンハンク

タイキバンセイ

ガデンインスイ

イツシンフラン

ダイドウシヨウイ

ジゴウジトク

イツチヨウイツセキ

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
---	---	---	---	---	---	---	---

5 次のそれぞれの内容にあてはまる四字熟語をあとのカタカナの語群から

選び、漢字にして答えましょう。

- ① 文句やりくつを言わずにだまってやること
- ② 評判ばかりで実質がともなわないこと
- ③ 自分で自分のしたことをほめること
- ④ どうしてものがれられない困難こんなんな立場にあること
- ⑤ 行動が火のひらめきのように非常にすばやいこと

⑮	⑬	⑪	⑨
	⑭	⑫	⑩

- ⑥ 一つのこと^に心をとられ、我^{われ}をわすれてしまうこと
- ⑦ 時間の経過ととも^にたえず進歩すること
- ⑧ 進んだりしりぞいたりすること
- ⑨ 死にそうなところを生き返らせること
- ⑩ はじめからおわりまでのこと
- ⑪ どころも悪い所がなく完全なこと
- ⑫ 本^{ほん}当^{とう}かどうか全部は信用できないこと
- ⑬ 世の中が開けて生活が便利になること
- ⑭ かたよらないで私^{しん}心^{しん}のないこと
- ⑮ 様々な^{ちが}違い、種類があること

「語群」

ジガジサン	イチブシジュウ	タシユタヨウ
イッシンイッタイ	ムガムチュウ	キシカイセイ
ゼツタイゼツメイ	ハンシンハンギ	フゲンジツコウ
ブンメイカイカ	カンゼンムケツ	デンコウセツカ
ユウメイムジツ	ニッシンゲツポ	コウヘイムシ

⑮	⑬	⑪	⑨	⑦	⑤	③	①
	⑭	⑫	⑩	⑧	⑥	④	②

6 次のそれぞれの内容にあてはまる四字熟語をあとのカタカナの語群から

選び、漢字にして答えましょう。

- ① 一つのことと二つの利益が得られること
- ② 強い者が弱い者をえじきにする事
- ③ 心が公平でやましいところがなく、堂々としていること
- ④ 決まった考えを持たず、むやみに他人の説に同意すること
- ⑤ あちらこちらと旅をすること
- ⑥ 肉を入れず、野菜だけ使った料理
- ⑦ 人間の行いは、結果として必ずそれ相応の報いがあること
- ⑧ 心の持ちかたががらりと変わること
- ⑨ 人がそれぞれの才能に合った地位や任務につくこと
- ⑩ 様々に悪口を言うこと
- ⑪ たいそう恐れ^{おそ}いって謝ること
- ⑫ その場その場の変化や状^{じやう}況^{きやう}に応じて、処^{しよ}置^ちをとること
- ⑬ 小さなことを大げさに言うこと
- ⑭ 言葉で言い表せないほどびびること

⑮ 晴れの日は田畑を耕し、雨の日は家で読書すること

【語群】

フワライドウ

インガオウホウ

アッコウゾウゴン

シンキイッテン

シンショウボウダイ

ジャクニクキョウシヨク

セイコウウドク

テキザイテキシヨ

ナンセンホクバ

ゴンゴドウダン

リンキオウヘン

ヘイシンテイトウ

イツセキニチヨウ

ショウジンリョウリ

コウメイセイダイ

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

7 同音異義語・同訓異義語

解答 227 ページ

1 次の各組のカタカナの部分に漢字に直しましょう。

- ①ア 左右タイシヨウの図形
- イ タイシヨウ的な二人の性格
- ウ 若者わかものをタイシヨウとする意識調査
- ②ア カンシンにたえない事件
- イ 歴史学にカンシンを持つ

⑮	⑬	⑪	⑨
	⑭	⑫	⑩

ウ 彼女のカンシンを買おうとしてもむだだよ

エ その犬のかしこさにはカンシンさせられる

③ア 他人の意見にイギを唱える

イ イギのある話し合いだった

④ア 人質をカイホウする

イ 患者はカイホウに向かっている

ウ 校庭をカイホウする

⑤ア 蒸気せいキカン車

イ 消化キカン

ウ キカン支えん炎

①ア イ ウ

②ア イ ウ エ

③ア イ

④ ア

イ

ウ

⑤ ア

イ

ウ

⑥ ア 係員のシジにしたがう

イ 彼女の意見をシジする

ウ 山田教授にシジして物理学を学ぶ

⑦ ア 絶好のキカイをのがす

イ キカイ体操たいそくの選手

ウ 彼は何度聞いても同じ答えをキカイ的きかいてきにくり返すだけだった

⑧ ア 人事イドウじんじが発表される

イ 新旧の法律ほうりつのイドウを調べる

ウ 家具の位置をイドウさせる

⑨ ア 政府の責任をツイキュウする

イ 真理をツイキュウする

ウ 利益をツイキユウする

⑩ア 品質をホシヨウする

イ 老後の生活をホシヨウする

⑥ア

イ

ウ

⑦ア

イ

ウ

⑧ア

イ

ウ

⑨ア

イ

ウ

⑩ア

イ

⑪ ア 議案をケントウする

イ 方角のケントウがつかない

⑫ ア ヤセイ動物を保護する

イ ヤセイの本能に目覚める

⑬ ア ごみの分別シユウシユウ

イ 混乱こんらんをシユウシユウする

⑭ ア それはセイサンがあつてやったことなのか

イ 過去をセイサンする

ウ 運賃うんちんをセイサンする

⑮ ア 父はシヨヨウがあつてでかけております

イ シヨヨウ時間

⑪ ア

イ

⑫ ア

イ

2 次の各組のカタカナの部分を漢字に直し、必要な場合は送りがなをつけ
ましょう。

- ① ア 成功をオサメル
イ 月謝をオサメル
ウ 学問をオサメル
エ 国をオサメル
- ② ア 土地の面積をハカル
イ 体重をハカル
ウ 時間をハカル

⑮ ア	イ	イ	イ
		ウ	

工 問題の解決をハカル

③ア 会社にツトメル

イ 司会をツトメル

ウ 安全運転にツトメル

④ア 郊外こうがいから都心へ事務所をウツス

イ 教科書を書きウツス

ウ 満月をウツス 湖面

⑤ア 自伝をアラワス

イ 姿すがたをアラワス

ウ 鳩はとは「平和」という意味をアラワス

①ア

イ

ウ

エ

②ア

イ

ウ

エ

⑤ ア	④ ア	③ ア
イ	イ	イ
ウ	ウ	ウ

⑥ア

乱みだれた髪かみをトトノエル

イ

旅したくの支度したくをトトノエル

⑦ア

左キキのくせを直す

イ

葉はのキキ目めが現あれる

⑧ア

西側に富士山をノゾム庭園

イ

万全の準備で試験にノゾム

⑨ア

布をタツ

イ

長い年月がタツ

ウ

音信をタツ

工 退路たいろをタツ

⑩ ア 宇宙うちゅうの真理しんりをキワメル

イ 現場けんじょうは混乱こんらんをキワメていた

⑥ ア

イ

⑦ ア

イ

⑧ ア

イ

⑨ ア

イ

ウ

エ

⑩ ア

イ

⑪ ア 白い糸いとの間に赤い糸いとが何本なんぼんかマジッテいる

イ 水みづと油あぶらはマジまじじじ合あわわなない

⑫ア 父の店を息子がツグ

イ 木に竹をツグ

ウ 失敗にツグ失敗

⑪ア

イ

⑫ア

イ

ウ

8 ことわざ・慣用句・故事成語

解答 228 ページ

1 次のA～Fまでは、共通の語を用いた慣用句のグループです。()にあてはまる語を漢字一文字で答えましょう。また、それぞれの慣用句の意味をあとを選択肢から選びましょう。

A ① () が高い

② () にかける

③ () をあかす

④ () につく

参考

慣用句

「慣用」とは「使い慣れた」という意味で、「慣用句」とは、人々のあいだでいならわされて「きまり文句」となった言葉のことです。「鼻が高い」「耳が痛い」といった人体の一部を使ったものと、そうでないものに大別できます。

⑤ () であしらう

⑥ 木で () をくくる

ア 人をばかにしていい加減にあつかう

イ 無愛想にもてなす

ウ あきあきしていやになる

エ 得意に思う

オ 人に自慢じまんする

カ 出しぬいて、あつと言わせる

Aの()に入る漢字Ⅱ

①

②

③

④

⑤

⑥

B ① () が高い

② () をかける

③ () がない

- ④ () が肥える
- ⑤ () が回る
- ⑥ () に余る
- ⑦ () をこらす
- ⑧ () をみはる
- ⑨ () もくれない
- ア おどろく
- イ かわいがり、めんどろを見る
- ウ とても好きである
- エ じっと見つめる
- オ とてもいそがしい
- カ 見向きもしない
- キ ひどすぎて見ていられない
- ク 物のよしあしを見分ける力がすぐれている
- ケ いいものを見慣れて、物のよしあしを見分ける力がつく

Bの()に入る漢字Ⅱ

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

C ① () を切る

② () を焼く

③ () に余る

④ () がこむ

⑤ () をこまぬく

A 自分の力では解決できない

イ うまく始末がつけられずに困る

ウ 細工がこまかい

エ 自分からは何もせずに見せつける

参考

こまぬく

「こまぬく」とは本来「左右の手を胸の前で組み合わせる、腕を組む」という意味で、転じて「何もしないで見ている、傍観する」という意味にもなります。近年は音が変化して「こまねく」を使うこともあります。辞書にのっていますから、「こまねく」も間違いいではありません。

オ 関係をたつ

Ｃの（ ）に入る漢字Ⅱ

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

D ①（ ）が早い

②（ ）を洗う^{あら}

③（ ）が出る

④（ ）もとを見る

⑤（ ）が棒^{ぼう}になる

⑥あげ（ ）をとる

ア 相手の言葉じりや言いそこないをとらえてなじむ

イ 歩きつかれる

ウ 食べ物がかさりやすい

エ 弱みにつけこむ

オ 予算をこえてしまう

カ 悪いことをやめてまじめになる

Dの()に入る漢字Ⅱ

①

②

③

④

⑤

⑥

E ① () がきく

② () が広い

③ () が立つ

④ () がつぶれる

⑤ () に泥どろをぬる

ア 多くの人に知られている

イ 有名であるため、無理むりが通る

ウ はじをかかせる

エ はじをかく

オ 面目めんかくをつぶさずにする

Eの()に入る漢字Ⅱ

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

F ① () を持つ

② () をならべる

③ () で風を切る

④ () の荷がおりる

ア 責任を果たしほっとする

イ 同じくらいの力を持つ

ウ いばって歩く

エ 味方をする

Fの()に入る漢字Ⅱ

- ①
- ②
- ③
- ④

2 次のことわざ・故事成語の意味をあとのアーツから選びましょう。

- ① どころぼうをとらえてなわをなう
- ② 君子あやうきに近寄らず
- ③ 門前の小僧習わぬ経をよむ
- ④ 花より団子
- ⑤ 難波の葦は伊勢の浜荻
- ⑥ 光陰矢のごとし
- ⑦ 泣く子と地頭には勝てぬ
- ⑧ 類は友を呼ぶ
- ⑨ 虎穴に入らずんば虎子を得ず
- ⑩ 論語読みの論語知らず

参考

ことわざ

ことわざは、人生の教訓や生活の知恵などを、昔から言いならわされてきた短い語句で、表現したものです。

故事成語

「故事成語」は、中国の古くからの言い伝え(故事)から生まれた言葉です。

⑪ 過ぎたるは及ばざるがごとし

⑫ ぬすびとの屋寝

⑬ 鶏口牛後

⑭ 付和雷同

⑮ 竜頭蛇尾

⑯ 呉越同舟

⑰ 螢雪の功

⑱ 杞憂

ア 同じ物であっても、地方によって呼び名が変わる。

イ 何でもやりすぎるのは、やり足りないのと同じでよくない。ほどほ

どが肝心だ。

ウ いくら筋の通ったことを言っても通じないから、だまっていたがう

しかない。

エ はじめは勢いがよいが、終わりに近づくとふるわなくなる。

オ そのときになってあわてて準備すること。

カ 似た者どうしは自然に集まるものだ。

キ 立派りっぱな人は、ふだんから身をつつしみ、危険きけんなこと、危険な場所には近づかないものだ。

ク ためになる本を読んでも、ただ文字の上で理解するばかりで、実行がとまなわないこと。

ケ 月日の経つのは早いものである。

コ 小さな団体のリーダーになる方が、大きな団体の中で人にしたがっているよりもよい。

サ ふだん見たり聞いたりしているものは、知らず知らずの内に覚えてしまうものだ。

シ いらぬ心配。とりこし苦労。

ス 苦労しながら学問にはげんだ成果。

セ 仲の悪いものどしうが、共通の利害のために手を結び、助け合うこと。

ソ 危険をおかさなければ成功はおさめられない。

タ しっかりした考えを持たず、すぐ人に左右されること。

チ 見かけのきれいなものより、実際の利益を重んじること。

ツ 何をするにも、実はそれなりの目的がある。

⑬	⑦	①
⑭	⑧	②
⑮	⑨	③
⑯	⑩	④
⑰	⑪	⑤
⑱	⑫	⑥